第４回ホウ素中性子捕捉療法（ＢＮＣＴ）推進協議会の概要について

１　と　き　　平成３１年３月１９日（火）午後３時～４時３０分

２　ところ　　シティプラザ大阪　２階　燦の間

３　会議の概要

1. 議題１　各拠点における取組み状況等について

　　　　　各拠点におけるBNCTの取組み状況等について紹介がありました。

1. 大阪府立大学　ＢＮＣＴ研究センターにおける取組み

大阪府立大学

研究推進機構　ＢＮＣＴ研究センター長　　特認教授　　　切畑　光統　氏

1. 京都大学複合原子力科学研究所における取組み

京都大学複合原子力科学研究所

粒子線腫瘍学研究センター長　　　　　　　　　　　　　　　鈴木　実　氏

1. 大阪医科大学　関西ＢＮＣＴ共同医療センターにおける取組み

大阪医科大学　関西ＢＮＣＴ共同医療センター長　　　　　小野　公二　氏

1. 筑波大学における取組み

筑波大学　医学医療系　生命医科学域　准教授　　　　　　熊田　博明　氏

1. 南東北ＢＮＣＴ研究センターにおける取組み

南東北ＢＮＣＴ研究センター長　　　　　　　　　　　　　髙井　良尋　氏

1. 国立がん研究センターにおける取組み

国立がん研究センター　放射線治療科長　　　　　　　　　　伊丹　純　氏

（事務局代読）

1. 大阪大学における取組み

大阪大学大学院　医学系研究科　教授　　　　　　　　　　　畑澤　順　氏

1. 議題２　平成30年度事業報告及び平成31年度事業計画について
   1. 人材育成ＷＧについて

会議資料のとおり、平成3１年度事業計画について承認されました。

　　　　【主な説明】

　　　　　・人材育成講習会については、昨年に引き続き、講義と実習を分けて開催。２月12日、13日に大阪医科大学関西BNCT共同医療センターにて講義を、２月19日、20日に京都大学複合原子力科学研究所で実習を実施。それぞれ、講義は23名、実習は５名の方にご参加いただいた。

　　　　　・平成31年度の講習会実施にあたっては、参加者の募集方法についても検討を行う。

・平成31年度は、今後のBNCTの医療としての実用化の状況を見据えながら、本ＷＧやBNCT講習会のあり方を議論する必要がある。

* 1. 情報発信事業について

会議資料のとおり、平成31年度事業計画について承認されました。

【主な説明】

　　　　　・出張講座として、関西BNCT共同医療センターの小野センター長が、愛媛大学医学部附属病院、鳥取大学医学部附属病院で講義を実施。

　　　　　・英語版リーフレットを10,000部作成。海外への出張や国際学会での活用を依頼。

　　　　　・メディカルジャパン内の先端医療研究施設見学ツアーとして、関西BNCT共同医療センターへの視察を実施。

　　　　　・平成31年度は、BNCTを広く発信するため、東京でのシンポジウム開催を予定。

* 1. 平成31年度課題WG（ＢＮＣＴ推進協議会あり方検討ＷＧ）について

　会議資料のとおり、課題WG「BNCT推進協議会のあり方検討WG」の設置が承認されました。

【主な説明】

　　　　　・再発脳腫瘍、再発頭頸部がんの治験が進み、BNCTは「研究」の段階から「医療」としての新たなステージへと踏み出す時期にきている。

　　　　　・こうした医療実用化の進捗状況を見据えながら、日本中性子捕捉療法学会との役割分担等の整理も踏まえ、今後の推進協議会のあり方について検討を行うための課題WGを設置する。

1. 議題３　事務局からの報告
2. 窓口相談事務マニュアルについて

　前回会議において委員長預かりとなっていた「窓口相談事務マニュアル」について、窓口相談事務マニュアル作成検討WGにおいて取扱いを検討し、本マニュアルは関係機関の参考資料として活用いただくこととし、内容を修正。委員長に了承いただき、成案とした。

1. 関西の研究拠点の機能強化に向けて「中間とりまとめ」について

　今後の関西の研究拠点と医療拠点の連携、機能強化に向けて必要となる取組み等について関係者間で検討を実施。中間とりまとめとして、参考配布。

1. BNCT推進協議会の要綱の改正について

　（一社）関西BNCT医療センターの解散に伴い、事務局を大阪医科大学に変更する。

1. その他

・FBPA-PETの薬機承認をめざした見通し、研究の進め方について質疑応答があった。

【主な意見】

・FBPA-PETはBNCTの検査薬としてだけでなく、悪性腫瘍診断薬としても期待されており、引き続き実用化に向けた研究を進めていく。

＜閉　会＞